



区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備										
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	9	1	0	・積極的に支援会議等に参加し、情報共有・意見交換に努めている。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	7	3	0	・支援の引き継ぎ書の作成や直接の情報共有を担当者が行っている。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	7	2	1	・児童発達支援管理責任者や常勤職員が適宜専門的な外部研修、連携を行っている。						
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	1	4	5	・就園就学している利用児が多いため、事業所にニーズがないと感じているが、今後、長期休暇中に児童館などと交流できる企画を考えたい。	1	2	2	4		・参加した利用児全員が成功体験になるような企画を今後検討したい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	2	3	5	・地域住民を招待する旨の行事は行っていない。 ・毎月行っている勉強会には誰でも参加できるが広報が足りていないため、広く周知していきたい。						・毎月行っている勉強会は、だれでも参加できるので、広く周知していきたい。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	9	1	0	・支援の内容についてはモニタリングや個別支援計画の説明時、利用者負担については契約時に説明している。	9	0	0	0		・支援内容は写真や動画を使い、より分かりやすく伝えられるよう継続していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	9	1	0	・毎回、内容を確認して頂けるように説明している。	9	0	0	0		・前回の計画の評価と新しい計画案をわかりやすく説明するよう心がける。
保護者への説明責任・連携支援	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	5	5	0	・月1回の学習会や、書籍の貸し出し、支援物を家庭でも同様に使えるように助言している。	8	0	0	1	・study倶楽部で学べて感謝しています。	・会報やホームページ、事業所掲示で今後も参加を募っていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	9	1	0	・連絡帳のやり取りや電話での聞き取り、家庭訪問など必要に応じて対応している。	9	0	0	0	・年齢に応じた的確なアドバイスとても参考になります。	・事業所での支援に生かすため、家庭や地域での様子について、保護者に教えていただく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	10	0	0	・来所時、連絡帳、電話など、様々な形で相談に応じている。	9	0	0	0	・相談事にいつもしっかり丁寧に答えてくれる。	・いつでも相談できることを周知できるよう、掲示や会報を通じて伝えていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	4	6	0	・父母の会の形態の活動は開かれていないが、月に1回の学習の場で座談会を計画し、交流できる機会を設けている。	5	1	1	2	・月1回のstudy倶楽部で勉強になります。 ・もっと保護者同士の交流があれば良いと思う。なかなかそんな場がない。	・会報やホームページ、事業所掲示で今後も参加を募っていく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	10	0	0	・苦情の有無について、会報に表示している。	5	0	0	4		・日ごろから適切な対応を心がけるとともに、苦情があった場合は迅速に対応していく。
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	10	0	0	・子どもにはその子に合わせて、文字や絵で伝えるように心掛けている。保護者には、資料やメモ書き等渡すようにしている。	9	0	0	0	・親の相談、悩みにもアドバイスして頂き、感謝しています。	・科学的な根拠のある支援方法を採用するとともに、行動援護や強度行動障害研修などを受講し、専門性を高める。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	9	1	0	・毎月会報を発行しており、掲示物でも情報発信している。非常時の連絡手段としてマチコメメールを導入している。	9	0	0	0	・会報誌やstudy倶楽部の説明など、毎回して頂ける。	・会報発行の継続
10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	10	0	0	・個人情報は鍵がかかるキャビネットに保管している。	8	0	0	1		・継続	
保護者への説明責任・連携支援(続き)	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	10	0	0	・契約時にマニュアルの存在を伝え、事業所入り口に設置しいつでも見られるようにしている。	4	3	0	2		・マニュアルの存在について、定期的に発信する。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	10	0	0	・勤務の関係で訓練に参加できない職員がいるが、法令に基づき訓練を実施している。	7	1	0	1		・防災訓練の実施について、掲示やブログで発信していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
非常時等の 対応	3 虐待を防止するための職員研修機会の 確保等の適切な対応	10	0	0	・毎月職員会で事業所内での状 況を確認し、年間を通じて職員 研修を行っている。					
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における 組織的な決定と、子どもや保護者に事前 に十分に説明・了解を得た上での児童発 達支援計画又は放課後等デイサービス 計画への記載	9	1	0	・現在4件のケースがあり、3か 月に一度見直しを行っている。					
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医 師の指示書に基づく適切な対応	4	6	0	・医師の指示書が必要な利用児 はいないが、おやつを提供時に 保護者に確認を取っている。					
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内 での共有の徹底	9	1	0	・事例集は作成していないが、 毎月の職員会で共有している。					